

宇治市地球温暖化対策実行計画

～環境にやさしい市役所をめざして～

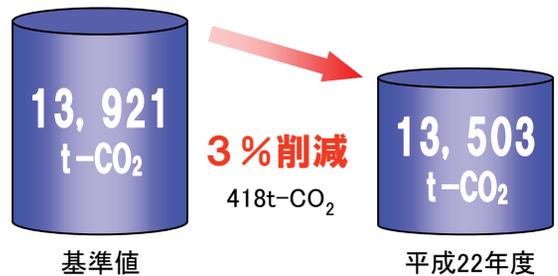
本市では平成12年度に宇治市地球温暖化対策実行計画を策定し、温室効果ガス排出量の削減に向けた取り組みを推進してきました。本計画は、第1期計画に引き続き宇治市の事務事業に係る温室効果ガス排出量の抑制に向けて、全職員が取り組むために策定したものです。

温室効果ガス排出量の削減目標

■温室効果ガス総排出量の削減目標

- 平成18年度～22年度までの間に3%削減(基準値比)

基準値:平成13年度～平成16年度を基準期間とした平均値



■対象範囲

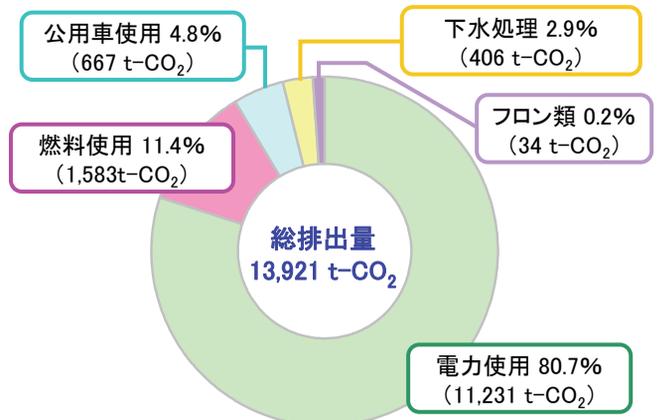
- 宇治市が行う全ての事務・事業

■基準期間の温室効果ガス排出量

- 温室効果ガス排出量は13,921t-CO₂

基準期間における年平均温室効果ガス排出量は、13,921t-CO₂(CO₂換算)です。

温室効果ガス別では、二酸化炭素が全体の96.6%を占め、ついで一酸化二窒素の2.6%、メタンの0.6%の順です。活動区分別では、電力使用が80.7%を占め、ついで燃料使用の11.4%、公用車使用の4.8%の順です。



活動区分別温室効果ガス排出量

削減のための具体的な取り組み

■温室効果ガスの抑制等に関する個別目標

- 電力使用 : 従量電力使用量 5 %削減
※定額電力等は対象外（但し温室効果ガス総排出量には含む）
- 燃料使用（公用車除く） : 燃料使用量 3 %削減
（都市ガス・灯油・LPG・ガソリン・軽油など全体で）
- 公用車使用 : 車両燃料使用量 5 %削減（ガソリン・軽油・天然ガス）
走行距離 5 %削減
- 紙使用 : 紙類使用量 3 %削減
- ごみの排出 : 市施設から排出されるごみ（可燃・不燃） 3 %削減
- 水使用 : 水使用量 3 %削減

■具体的な取り組み

(1) 電力使用

- パソコンなどのOA機器を使用しないときは省電力モードにし、長時間使用しない場合は電源をOFFにします。
- 残業時には必要な箇所のための照明とします。
- 廊下、階段などは自然光を活用し、必要な箇所のみ点灯します。
- 不要な照明は消し、昼休みは必要な箇所以外はすべて消灯します。
- 照明機器は定期的に清掃します。
- 冷暖房の適正運転を図ります。また、フィルターの清掃を定期的に行います。
- 省エネルギー対策強化月間を設けます。（ノーネクタイやカジュアルな服装など）
- 長期間使用しない機器類のプラグをコンセントから抜きます。
- 蛍光灯やエアコン、冷蔵庫、OA機器など新たに電気製品を購入する場合、省エネルギー型の商品を優先的に選択します。
- 太陽光発電など新エネルギーを利用したシステムの導入を検討します。



(2) 燃料使用

- 夏季はカーテンやブラインドにより日射を遮り、冬季は自然光を取り入れ、空調効率を高めます。
- ガス給湯器は目的に合わせて低温で使用します。（目安として30℃）
- 冷暖房の適正運転を図ります。
- ボイラーなどの燃焼設備は定期的な点検を行い燃焼効率などの性能維持に努めます。
- 燃焼設備を更新する場合、エネルギー効率が高い省エネルギー型の設備を選択します。
- コージェネレーションシステムや蓄熱式空調システムの導入などを検討します。
- 燃焼設備等からの廃熱などの未利用エネルギーの利用を検討します。



(3) 公用車使用

- 公用車の効率的な運用を図ります。
- 出張時における公共交通機関の利用に努めます。
- 近距離移動時は徒歩移動を励行します。
- 急発進、急加速、空ぶかしの抑制やアイドリングストップを徹底します。
- エアコンの利用は設定温度の最適化に努めます。
- 公用車の購入は、燃費効率が高く環境負荷の少ない自動車への切り替えに努めます。(例:軽自動車・ハイブリッド車・天然ガス自動車など)
- 給油時にタイヤの空気圧等を点検し、整備します。



(4) 紙使用

- 両面コピーや両面印刷を徹底します。
- ミスコピー用紙の裏紙利用やメモ用紙などの利用に努めます。
- 資料は個人で持たず、部や課単位で共有します。
- 内部連絡にはできる限り封筒を使わず、使用する場合は、使用済みの封筒を利用します。
- 新しいフォルダーやファイルなどはできる限り使用せず、古いものを繰り返し使います。
- Eメールなどを活用し、ペーパーレス化を図ります。
- コピー用紙は再生紙使用100%のものを購入、使用します。(目安:古紙配合率100%、白色度70%)
- 紙ごみの分別を徹底し、再生利用可能な紙ごみはリサイクルにまわします。
- 事務手続きなどの資料の簡素化に努めます。
- 会議資料は簡素化を図り、必要最低限の枚数とします。



(5) ごみの排出

- 使い捨て容器の利用は控えるなど、ごみの減量に努めます。
- ペットボトルなどの利用は控え、プラスチックごみの減量に努めます。
- 会議などでの飲料用容器は紙コップやペットボトル商品を利用せず、繰り返し使用可能なものを利用します。
- ごみを細かく分別可能な分別ボックスを設置し分別ルールに従い分別の徹底を図ります。
- リユースやリサイクル可能な製品の購入に努めます。
- 食堂の生ごみの堆肥化など、生ごみの減量・資源化を図ります。
- コピー機やプリンターなどのカートリッジは業者回収を徹底し、リサイクルに努めます。
- 長期間使用しない機器類のプラグをコンセントから抜きます。
- 納品時にごみとなるような過剰包装は断ります。



(6) 水使用

- 蛇口のコマメな止栓、トイレの二度流しの自粛など日常的な節水に努めます。
- 洗車時は、ホースを使わずバケツを利用するよう努めます。
- 水道水圧の調節やトイレ用水の水量調節により節水に努めます。
- 手洗い器や便器の自動水洗設備など、節水型機器の導入を検討します。
- 雨水の貯留施設を利用した水循環設備などの設置の導入を検討します。
- 漏水の点検を徹底します。



主なエネルギーや資源等の使用状況

基準期間(平成13年度～16年度)の宇治市の事務・事業における主なエネルギーや資源の使用状況は次のとおりです。

		宇治市の 事務・事業における使用量	一般世帯の使用量に 換算すると・・・(推計値)
電 力		29,247,396 kWh	約 5,350 世帯分 ^{※1}
燃 料	都市ガス	395,935 m ³	約 1,000 世帯分 ^{※1}
	灯油	182,875 ㍓	約 700 世帯分 ^{※1}
公 用 車	ガソリン・軽油	217,974 ㍓	約 330 世帯分 ^{※1}
	天然ガス	49,945 m ³	—
紙類(コピー、印刷物等)		58,868 千枚(A4換算)	—
ご み	可燃ごみ	261.7 t	—
	不燃ごみ	91.5 t	—
	合 計	353.2 t	約 590 世帯分 ^{※2}
水(水道)		454,821 m ³	約 1,500 世帯分 ^{※3}

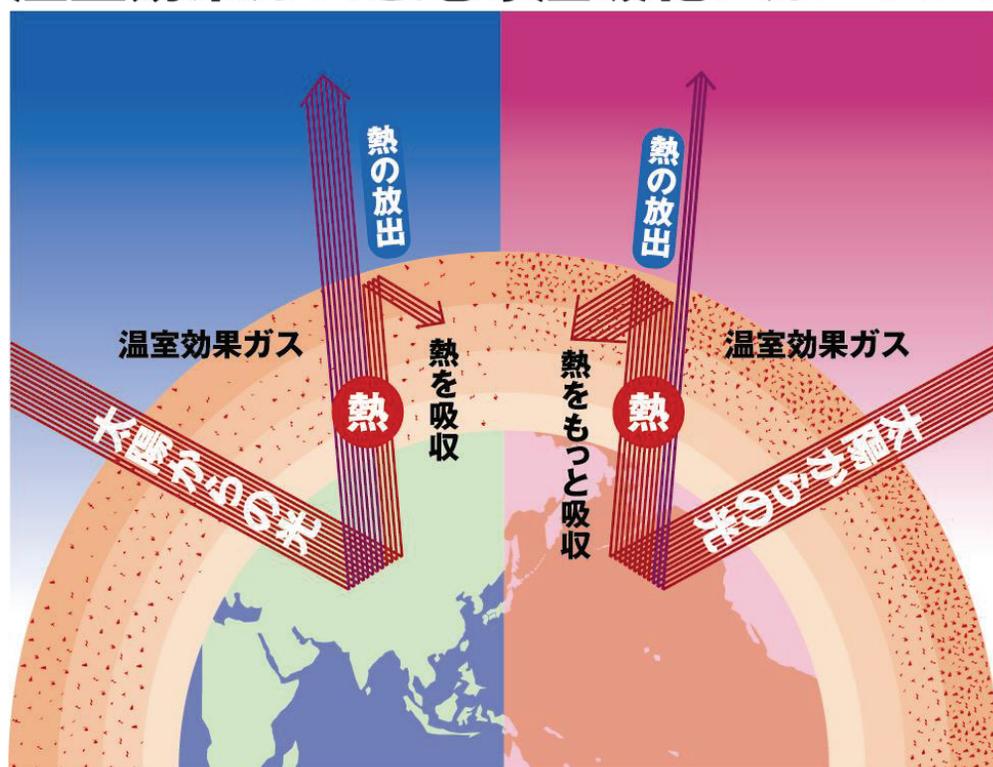
※1:「エネルギー白書2005」より推計した。

※2:「宇治市の環境」(平成16年度版)より推計した。

※3:1人1日使用水量を300㍓として推計した。

例えば水を使うことも温室効果ガス排出につながります。浄水場、下水処理場などでは「エネルギー」を使って水をきれいにしているからです。宇治市上水道では100m³の水をきれいにし、家庭まで届けると約16kgの二酸化炭素が発生します。これはガソリンを約7㍓燃焼して発生する量に相当します。

温室効果ガスと地球温暖化メカニズム



約200年前の地球

産業革命の始まった頃の
二酸化炭素の濃度は約280PPMでした。

現在の地球

二酸化炭素の濃度は、
現在では370PPMを超えてしまいました。